

■ 自社に合った対策を選ぶ（対策例）

おすすめ組み合わせ	対策	開発工数の少なさ	初期コストの低さ	運用コストの低さ	売上低下の少なさ	効果の高さ	柔軟性の高さ	メリット	デメリット		
●	人による検知	○	○	△	○	△	○	取り組みやすい	<ul style="list-style-type: none"> 急増中の最新手口に対処不可 担当者ノウハウ次第（属人化リスク） 休日、休日明け、繁忙期対応が困難 		
	業務委託	△	×	△	○	△ ～ ○	△ ～ ○	専門ノウハウあり	<ul style="list-style-type: none"> 急増中の最新手口に対処不可 業務品質は委託先次第 		
	社内システム	ブラックリスト強化						取り組みやすい	すり抜けが容易		
		専用システム開発	×	×	○	○	△		×	ノウハウがなく、当初イメージと最終形が大きく異なることが多い	
	海外対応	海外カード利用禁止	○	○	○	×	△		×	海外需要を取りこぼす	
		海外からのアクセス禁止									
●	リスクヘッジ	チャージバック保障	○	○	△	○	×	×	金銭負担の平準化	抜本策でなく、被害削減措置が別途必要	
	カード認証強化	セキュリティコード	○	○	○	△	×	△	×	取り組みやすい	セキュリティコードも盗まれており、防止効果が弱い
		3Dセキュア	×	×	○	×	△	△	×	カード会社が被害負担	売上低下インパクトが大きい
●	不正検知システム	海外製品	×	×	×	△	○	○	△	検知精度が高い	高コスト
		O-PLUX	×	△	△	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 検知精度が高い 柔軟性が高い 	中小規模のEC店舗の場合、費用対効果が合わない場合がある
		Fraud Finder	○	○	○	○	△	△	△	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みやすい 低コスト 	機能が限定されている